



# 金沢経済大学同窓会誌

# きずな

## 第12号

2001.09.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局  
〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10-1  
事務局 TEL・FAX(076)251-9876  
大学 TEL(076)253-3924

発行責任者:中田邦雄 編集発行人:菅村洋一

同窓会会員 現在12,417名

http://kizuna.kanazawa-eco.ac.jp  
Email kizuna@kiwinet.kanazawa-eco.ac.jp

平成十四(二〇〇二)年四月、金沢経済大学は

# 金沢星稜大学

へと生まれ変わります。

時代は変わり、大学も変わる・・・  
同窓会も金沢星稜大学同窓会と名称を変更いたします。

昭和四十二年四月に開学、  
四十六年には二部を設置し、  
開学三十五年、同窓会も設立  
三十年を経た歴史と伝統  
ある大学となりました。

この伝統の重みに、更に  
社会の要請を考慮したシテ  
イーユニバシティーとして  
成長することが求められて  
いるものとの結論のもと実  
現にむけて動きだしました。  
稲置学園の建学の精神「誠  
実にして社会に役立つ人間  
の育成」のもとに今日を迎

え、昨今の社会環境の変化  
の激しさの中、大学にも新  
しい社会貢献の姿が求めら

れているのです。心豊かな  
人間教育・・・金沢星稜大  
学の誕生です。

## 未来の星を つかもう。

21世紀に生きる実学  
金沢星稜大学は、21世紀に生きる実学を追求し、社会に貢献する人材を育成することを目的として、2002年4月に開学いたします。従来の金沢経済大学を継承し、新しいスタートを切ります。金沢星稜大学は、21世紀に生きる実学を追求し、社会に貢献する人材を育成することを目的として、2002年4月に開学いたします。従来の金沢経済大学を継承し、新しいスタートを切ります。

2002年4月、金沢経済大学から  
金沢星稜大学へ



### 金沢星稜大学

経済学部1部 経済学部・ビジネスコミュニケーション学部  
経済学部2部 経済学部  
大学院 地域経済システム研究科後援(認可申請中)

稲置学園  
〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10-1  
TEL(076)253-3924 FAX(076)251-9876  
http://www.kanazawa-eco.ac.jp

北國新聞・北陸中日新聞 掲載広告

IT時代に即応、

## 同窓会のインターネットのホームページを開設

最新の同窓会情報をHPでご確認下さい。

また、同窓生の動向やメール交換による交流を期待いたします。

HPアドレス <http://kizuna.kanazawa-eco.ac.jp>

Eメール [kizuna@kiwinet.kanazawa-eco.ac.jp](mailto:kizuna@kiwinet.kanazawa-eco.ac.jp)





# 日本型能力主義の通用性

金沢経済大学教授 経済学部長

服部

治

同窓という言葉の響きは、

一般的にはそこに懐かしさをももなう余韻がある。同じ校舎で学んだ者が集い、交流の場面となって広がる。それは、学生時代に一挙にタイムスリッブしたり、時に激励であったり、友情を温め合う機会であったり、仲間を理解する再発見の場であるかもかもしれない。同窓会のもつ快いひとときである。

激しい時代の流れの中で、本学同窓会のメンバー各位が着実にその数を増し多彩な活動を推進されておられることに対して、さらに大きな期待を寄せるところである。本学の建学の精神にもとづく人間育成の成果は、各分野に広く醸成されつつあると確信する次第である。

さて、ここで視点を転じて

わが国の企業経営における人材育成、人間形成をめぐる動きにも注目してみたい。かつて日本の経営の特徴と指摘された年功賃金・終身雇用・企業内労使関係がしだいに変容

していく兆候を具体的に表明したのが『能力主義的管理』(日本経営者団体連盟、一九六九年)の刊行であった。経済成長の持続とそれに呼応した経営活動の進展は、その範囲を拡大して国際化への道を歩むことになる。いよいよわが国の経営人事分野における能力主義の推進と思いきや、米国流の手法とは異なる、いわば日本型能力主義の台頭という状況となった。この日本型能力主義の浸透と拡がりは、七十年代、八十年代、九十年代へと時代動向の中で、定位置を占め比重を高めてきたといえる。

米国流と異なるところはなにか。その内容をみると、九十年代まで展開されてきた日本型能力主義には、一定の年功要素が加えられていたという点である。年功賃金から能力賃金へと重点移行してきたが、実態的には、能力賃金の中に年齢・勤続部分を織りこんでいる。能力賃金といえども、実は年功要素を加味しているということが多くの形態である。そこには米国流に一挙に転換しないで、なだらかに転換させていく意図がうかがえる。能力主義を全面に提示しつつも、内容はかつての年功要素にも配慮しているところが注目されるわけである。

行は、経営人事分野の日本型能力主義の成果を問う段階となった。これでいいのか。年功要素を織り込んだ、なだらかな変容は通用性を狭められているとみるのが妥当であろう。

二十一世紀の入り口のところでは能力主義も、改めて見直しグローバル時代にふさわしい通用性を確保しておく必要がある。『能力主義管理』が刊行されてから三十年を経た。わが国経営人事分野にも、聖域なき改革の時機にきているというべきかもしれない。

金沢経済大学同窓会のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

経営活動は、いよいよ範囲を広げて国際場面での競争の中にある。グローバル化の進

プロフィール  
昭和十三年一月二十二日  
三重県 伊賀市生

学歴

昭和三十三年三月  
中央大学法学部卒

同人社団法人近代的労使関係研究協会入職。同研究会にて企画部長・制度政策研究委員・理事を歴任。この間、立教大学社会学部講師、東海大学政治経済学部講師として活動。

知識労働者職務分析専門員(通商産業省)、東京商工会議所・横浜商工会議所経営専門員、人材開発・職種転換教育研究委員会専門委員(労働省・中央職業能力開発協会)など。中国人民大学客員教授として同大学で経営管理論、人材開発論を講義。

平成三年四月 金沢経済大学教授に就く。



# 二十一世紀のIT教育

金沢経済大学教授 総合情報センター長 **大藪 多可志** おお やぶ た か し

金沢経済大学は、平成十四年度より、「金沢星稜大学」に校名を変更するに伴い、二十世紀に積み残された諸問題を解決できうる学生の輩出を重要な目標の一つに掲げ、様々な観点から構想を練っているところです。二十一世紀には、「生命科学」、「情報通信」、「環境」、「福祉」、「教育」、「地域経済」に関する研究・手法の再検討と更なる発展が望まれています。技術立国・日本としては、スピーディに英断を持って、これに対処していく必要があります。この分野における研究や教育が、今後の日本の将来を大きく左右します。特に、当該分野の技術開発が経済活動に強く連動するため、今後、その分野において如何に経済効果を向上させ世界をリードしていくかが問題です。

先に述べた分野に共通し必要不可欠なテクノロジイとして「情報技術」(IT: Information Technology)があります。ITは、国民一人一人が共通の技術として具備しマスターしなければならぬものです。意志伝達を行うとき、ITは言語と同様に必要不可欠なコミュニケーションツールです。本学におけるIT教育も、これらの技術開発を鑑み一味違う方法を検討しています。来年の校名変更と時を同じくし、新ネットワークシステムを導入する予定で検討し、その大枠が固まりつつあります。構想の三つの柱として、「学生サービス」、「地域社会へのサービス」、「国際化」を掲げることとなりました。

「入力」、「処理」、「出力」に相当する、入試、教学、就職活動にきめ細かい配慮を行えるようネットワークを最大限活用する予定です。伝送スピードもブロードバンド化を見据え、ギガ(十の九乗)対応で構成する予定です。電話のみならず、プロバイダを経由したり携帯電話からアクセスも不自由なく行えることは言うまでもありません。重要な講義内容をデジタル化し、インターネットを介して、何時でも何処からでも何回でも受講可能となります。これらの科目については、落ちこぼれを出さないことを第一の目標としてサポートします。さらに、英語、数学、経済基礎、簿記会計など、本学にとって必要不可欠な資格試験等に対しては、補完的な授業がネットワークを介して何回でも受講でき、各自のレベ

ルが大学内のどの位置にあり、達成度などの統計情報までも示すシステムを検討しています。

「地域社会へのサービス」としては、ネットワークを介して、講演会や一部講義等のコンテンツの解放、地域企業との共同研究のサポート、各種データベースの構築を検討しています。

「国際化」については、環日本海の国々との重厚な連携を目標に、講義内容やWebページの中に、韓国・ロシア・英語バージョンを作成し、共同研究や相互交流をサポートを行います。勿論、今後は同窓会ともネット上で強力に連携し「きずな」を深め、学園発展のためご援助をお願いしたいと思っております。

プロフィール

昭和二十四年二月十日 富山県生  
学歴

昭和四十八年三月

工学院大学大学院

工学研究科修士課程終了

昭和五十年三月 早稲田大学

第二文学部英文科卒業

昭和五十九年三月 工学博士

(工学院大学)

職歴

昭和六十年四月

金沢女子短期大学教授

平成六年四月 富山国際大学教授

平成十年四月 金沢経済大学教授

専門

センサシステム

(環境・福祉分野への応用)



# 構造改革と目線

金沢経済大学教授 地域経済論 原 耕 平

巷では小泉内閣の唱える構造改革という言葉がもてはやされ、過去の欄から一刻も早く逃れたという機運が高まっている。

世の中、失われた十年と称される平成不況からようやく立ち上がる決心をしたかみ見える。遅かったなどと今更考えること自体が過去に自縛されていることであり、今の機運にはそぐわない。

構造改革とは、経済の見方からすれば供給サイドを改革するということであり、生産者側すなわち産業構造を変えるということである。改革を支持する我々は、財・サービスの生産者という顔を持つと同時に、それらの消費者としての顔を持っている。現在の時点ではどうも消費者の顔で構造改革を支持している状態で、改革の結果が自分達に振

りかかってくることを充分理解していないようである。生産者はまさに他人との感あり。

長引く不良債権処理の責めを金融機関などに集中させる一方で、バブル時の好景気を思い出しながら、現状の膠着状態を嘆き続ける身勝手さはまさに自己の無い消費者の様相である。

構造改革は生産者側の改革であるが、これは決して業種の取捨選択ではない。本質は人的資本の改革であり、活性化であるということを認識すべきである。世界の人口が着実に増加する中において、急速に少子高齢化に突入する日本においてはまさに人材こそが生産要素として一番重要な位置を占めてくる。すなわち、構造改革とは私達の人生に対する考え方、行動の仕方の大変換を要求されているのであ

る。

バブルの後遺症として、お金で人生を判断する風潮が未だに残っている。これに情報化時代というものが加われば、大人として社会にいて所得を得る前段階の若者にとつては、無気力になるか自暴自棄に振舞わざるを得ない環境に追い込まれるのは自然であらう。

これまでのお金を稼ぐための職能、会社を第一目標としてきたが、所得の多い少ないではなく、頂いたお金を如何に資産として有効に働かせるかという方向に転換すべきであらう。三〇〇兆円という個人金融資産を有効に使えない状況を打破する考え方、智慧が必要になってきたのである。日本を再生するための構造改革には、お金を稼ぐだけのために

下がってきた目線をここで上げる必要がある。これができなければ構造改革も一時のファッショ

ン的な意味合いしか持たないであろう。目先のことを追う毎日から、既にある環境、人の繋がり、信用、職業をより一段と高め、資産として有効に使えるように頭を替えないければならない時期である。目線を上げるためには、各自が人生をあらためて問いそして学ぶという原点に戻ることである。

ファッションを追うがためにファッショに陥る危険性を無くするためには、心の落ち着きが必要である。心の落ち着きが出来れば、心のきずなが自然に出来上がり、邂逅のときめきが日本の構造改革の骨太な支えとなる。同窓のあり方はまさにここにありと考える。小生も非力ながら、お役に立ちたいと思う。

プロフィール  
昭和二十二年七月二十四日 福井県生  
学歴  
昭和四十七年三月  
青山学院大学 経営工学科卒

職歴  
昭和四十七年四月  
大和証券 調査部 入社

昭和五十二年十二月 米国  
ペンシルバニア大学ワートンEFA

昭和六十二年二月  
大和証券経済研究所 香港支所長

平成元年四月  
大和総研(香港) 社長  
兼チーフ・エコノミスト

平成五年四月  
大和総研 経済調査部 部長  
兼チーフ・エコノミスト

平成六年二月  
大和総研 経済調査部 経済部長  
兼チーフ・エコノミスト

平成九年十月  
大和総研 調査本部 理事

平成十二年六月 大和総研 退職

平成十二年七月 金沢経済大学 教授

# 活躍する同窓生



ギャラリーK<sub>2</sub>  
代表  
小坂 智  
(一部十六回生)  
(昭和三十八年生(三十八歳))

有松、四十万線と円光寺、鶴来線の交叉する角に、その瀟洒な三階建のショールーム兼オフィスがある。外観からの一見では無表情でこくありふれたオフィス用の建物のように、右脇の看板がそれとなく絵画っぽい雰囲気を感じさせている。ここで、ギャラリーの意味が納得できる。入り口を入ると額装された絵画が右手にさりげなく飾られていて、正面にはすぐに階段があった。もうそこからして雰囲気違っていた。

大学を卒業して、地元では名の通った中村留精密工業株式会社営業部に就職、五月から東京で研修を受けて七月から北関東営業所に勤務、その二ヶ月後、九月から山形を拠点とした六県での営業をまかされることになる。これをスピード出世というか、本人にとつては、なんとも変わった会社だつたと振り返させる。ここからが彼



らしいと言うか、生真面目というか、熱心に東北の気風を学びながら営業にまい進、その役割を果たすことになる。が、五年後、郷里で警察官となっていた高校の同級生が殉職し、フト人生を考える機会に遭遇し、「このままでは」と思い巡らせることになり、人生の折り返し



年齢を考えることとなったと言う。「三十歳までには独立しよう」と、それまで漠然としていた考え方を一歩進めて具体性を帯びはじめていたようである。

二十九歳、三年後輩に席を譲り、円満退社にて郷里の金沢にもどり、ギャラリーを開設する。好きな物で自分の世界を演出することに自営業の第一歩を記すことになった。もの柔らかでちよと考え深気な様子には、慎重だが前向きな姿勢が読み取れる。業界に精通するにはまだ九年ではと語りながら、お客さまのニーズをいかに読み取ってそこにはまる絵をお勧めするかに関わる姿勢が伺われる。「仕事ですから」と謙虚だが、言葉にはある力強さを感じる。「そうですね、最初の就職で東北の営業を一手に任されたと言ったことが大きなきっかけになっているのかもしれない」

と、その善し悪しに結論を出していかないかのようである。

業界とは面白いもので、この九年前にギャラリーを通して、それまでないネットワークが生まれ、美大生や作家集団との交流も増え、営業では中学、高校、大学とその同窓生のまさに「きずな」の大切さを実感していると云う。それも、なんと大きな絵、二百号や三百号の大作を早く売りたいと思つている時、まさに晴天の霹靂というべきか、七年勤めた先の会社の社長が今も自分の生き方に、そして、「きずな」としてしつかり生きずいていると話す。それは、自主独立ではなく、自分を支えてくれる多くの人がいいて自分が今あるという実感になることを感謝すると云う。そして、その実感を大切にしながら努力を積み重ねることで更に奥行きが出来ると思うようになってきたようである。

バブル経済の崩壊と同時に独立、自営の厳しさを肌で感じながら、しかし、自分の判断と自分のこれまで培ってきた考え方に、多くの支えてくれる人との対話で努力が報われるところを実感しながら、かじ取りが手の中にあることを楽しみたいと云う。

これからは、eビジネスです。二年前に開設したホームページで、新しく開発したプライダ商品を紹介したところ、思わぬ反応があり、儲けというよりも、もつと奥

の深いビジネスチャンスのあることを見つめ直しているとのこと。さて、どんな応援団の出現があるか、と淡々とした口調の中にも、新しい動きにチャレンジする姿を見い出した。ビジネスは、人となりを表わすようで、既存の業態で語ることが難しくなっていることを実感する。展開は、さらに時間が必要なのかも知れないが、人とひとを繋ぐ手立てはいろいろあつて、そして活かし切つてこそ本意になるような思いのする時間であつた。



ホームページ・アドレス <http://w2222.nsk.ne.jp/~g.k2/>

所在地 金沢市窪三丁目七番地  
TEL(076)243-1007  
FAX(076)243-1735

従業員 二名  
営業品目

絵画、リトグラフ、版画などの販売  
額縁製造加工、立体物額装  
似顔絵、そっくり人形製作

関西支部 第三回総会開催される

早いもので、関西支部として第三回目の支部総会が、神戸市の神戸東急インで開催されました。設立準備会は大坂で、設立総会は大坂東急ホテル、第二回総会は、場



佐久間 裕 関西支部長

所を京都に移して開催され鳥丸京都ホテルと、関西支部エリヤを回ることで参加者の支部活動への意識向上を図った試みがなされています。しかし、今回も支部からの参加者は四名と、金沢からの会長、副会長三名の計八名でのやや物足りない総会となりました。佐久間裕支部長より、まだ発展途上であるとの挨拶があり、支部の存在のPRや役員相互の連携不足を解消して明年の第四回総会につなげたいとの発言がありました。金沢からの新しい同窓会の活動報告や学園の活動について中田会長より説明があり、同窓会としての活動意義や今後の方針に就いて、

懇親会を交えて話し合われました。地域に根ざした同窓会の活動や存在がまだまだ認知されていない現状を踏まえ、今後ますますのコミュニケーションツールの開発が望まれるところですが、インターネットのホームページも立ち上がり、「きずな」での情報発信もより充実したものにしなければなりません。常に、同窓生の活躍を日頃の糧としたネットワークが、新しい時代にも通用してこそ同窓会役員の大きな望みであります。大学の後輩を暖かい目で支援するそして、交流を深めることで生きている社会の役に立つことこそ学園で学んだもの同士のありべき姿ではないでしょうか。一人が一人に声を掛け合えば倍に裾野を広げられることを確認し

支部長名簿

各支部のお世話役として頑張っている支部長をご紹介します。支部のあれやこれやをご連絡下さい。

●関東支部

山根 孝二 (一部一回)  
〒222-0031 横浜市港北区太尾町23-1-505  
TEL (045) 547-3443

●関西支部

佐久間 裕 (一部二回)  
〒651-2401 兵庫県神戸市西区岩岡町岩岡  
2167 TEL (078) 967-0199

●東海支部

齋藤 周一 (一部五回)  
〒464-0073 愛知県名古屋千種区高見2-  
1-38-103 TEL (052) 751-4301

●新潟支部

小川 健一 (一部八回)  
〒951-8121 新潟県新潟市水道町1丁目  
5932-51 TEL (025) 229-3979

●富山支部

山崎 喜善 (一部一回)  
〒939-8014 富山県富山市中川原新町372-6  
TEL (076) 425-7221

●加賀支部

吉江 外代夫 (一部二回)  
〒922-0257 石川県加賀市山代温泉桔梗丘  
4-20-1 TEL (0761) 76-3205

集れ！同窓生諸君

富山支部設立第一回総会のご案内

富山支部設立一年、活動の原点を求めた総会として開催いたします。富山在住の同窓生諸君の多数のご参加を期待します。あなたのご意見が活動を支えます。

日時：平成十三年十月二十日(土) 午後六時

場所：高志会館

富山市千歳町一三二一  
TEL (076) 四四一・二二五五

会費：八、〇〇〇円

会場準備の都合上、十月十日(水)までに、富山支部長 山崎喜善までご連絡をお願いいたします。  
山崎喜善 TEL・FAX (076) 四二五・七二二一  
携帯〇九〇・四六八五・五六三二です。



て、第三回の総会は締めくくられました。支部での事業活動が提案され、大きな輪となることを約束して散会となりました。



# 稲置学園同窓会発足

## 学園七十周年記念事業へ

### 協力体制をスタート

平成十二年六月、平成十四年に稲置学園が創立七十周年を迎えるにあたり、各学校の同窓会を母体に、「稲置学園同窓会」の設立が図られることになりました。設立世話人には実践商業高校卒業の園田新午氏が就任、金沢経済大学、星稜女子短期大学、実践商業高等学校、星稜高等学校の四同窓会に設立準備の役員会を招集することとなり、会合が持たれました。賛否のある中、この同窓会の果たす役割について議論が持たれ、学園を応援するにあたり各校が単独で



実施するより同窓会の総意を集めることがベストではないかとの意見が大勢を占め、設立に向けての具体的な動きが始められることとなりました。平成十二年八月十日(木)、メルバルク金沢において役員会が開催され、学園同窓会の骨格となるお世話役の役員案と会則案について検討がなされ、次回の会合までにまとめ上げることで各校の同窓会活動との整合性を図ることにしました。また、正副世話人による会合を毎月一回のペースで開催することで、より具

体的な活動の提案をまとめることが承認されました。平成十二年十一月十八日(土)には、稲置学園、学園同窓会合同連絡協議会が開催され、一時間に渡る懇談で、同窓会の目指すもの、学園が期待することの意見が交換されました。新しい世紀、新しい試みで学園を盛りたてることへの挑戦が具体化することになりました。少子高齢化の波が否応なく現実化しています。学園の経営に



としては、学生の確保を含め大きな試練が迫っていることになり、そこに視点を置いての学園同窓会活動の提案は、他に類を見ないようです。平成十三年二月十七日(土)、学園同窓会役員新年会を兼ねた、発足記念パーティがメルバルク金沢で開催され、学園関係者並びに同窓会役員五十三名が出席、園田会長の挨拶で学園が目指す「人づくり」教育を支援することが表明され、この「人づくり」をテーマとした活動として、講演会やスポーツ交流会、四同窓会合同の同窓会の開催、更には七十五周年に向けた同窓会館設立などの計画案が示され、はスタートしました。来賓には、馳浩代議士が駆け付け、この大きな波への評価を語りました。こうした活動を支える資金として、各同窓会が三十万円を負担し、当初活動することです。四同窓会の了承を取り付け、平成十三年六月九日(土)午後三時より開催された役員会で、決算並びに予算案が承認されました。午後四時からは、学園・学園同窓会連絡協議会がもたれ、今回は、各学校の先生方のご出席を得て、現状と問題点などについて意見交換がなされました。



ご出席者名  
金沢経済大学：小西滋人教授、星稜女子短期大学：多田直光助教授、星稜高校：河崎護教諭、岡本正樹教諭、横山博保教諭、星稜中学：上野輝幸教諭  
以上六名  
こうした学園を構成する各層の方々との懇談を踏まえて同総会に求められる活動をより鮮明にすることを目指しています。学園創立七十周年では、平成十四年十月五日(土)に、同窓会の記念式典を予定し、その具体的な作業に向けた取り組みを始めることになっています。この試みの意義を、大学同窓会として冷静に見つめることで、同窓生諸氏にお知らせし、共に学園の発展と、大学のこれからを注視していきたいと考えます。

# 母校の発展を見据えて 平成十三年度 理事会開催



金沢経済大学同窓会として最後の理事会が、平成十三年七月二十八日(土)午後六時より、金沢スカイホテルに於いて三十五名の出席者のもと開催された。清水総務委員長の開会のことばに続き、中田会長の挨拶の後、本日遠方より出席の関西支部支部長佐久間裕氏と富山支部支部長山崎善善氏の紹介の後、会則に基づき中田会長が議長となり議題の審議に入った。

一、平成十三年度役員名簿に基づいて説明があり、二部十四期の植田洋子氏が退任、宮野廣之氏を後任とする説明の後承認された。また、十二年度卒業の一部三十一期十名、二部四



名の新たな理事就任が報告され、拍手で了承を受けた。

一、平成十二年度決算報告、平成十三年度予算案について田中会計の都合による欠席で、鳥居副会長が代行して説明を行い、監査報告と合わせて質疑応答の後、承認される。

理事会終了後、午後六時三十分より懇親会が開かれ、会長の挨拶、稲置理事長のご挨拶を頂き、来賓の紹介に続き岡田学長の乾杯の音頭で開宴した。

席上、大学の現状報告があり、校名の変更が同窓会として承認されたことへのお礼と、更に大学院の開設計画で、一段と大学としての発展を期すことを目指していることと同窓会の支援要請がなされた。

途中、鈴木常務理事及び岡田学長のスピーチがあり、服部経済学部長の一本締めで中締めし、午後八時三十分閉宴となった。

## 平成12年度同窓会決算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	6,109,711	事業費	664,650
入会金	4,900,000	人件費	625,500
受取利息	73,418	通信費	1,244,129
雑収入	83,654	消耗費	29,470
		在校生補助	1,161,500
		理事会費	384,638
		支部助成金	150,000
		旅費交通費	148,620
		広告費	72,500
		学園懇親会費	69,126
		同窓会館積立金	68,997
		予備費	370,000
		次期繰越金	6,177,653
合計	11,166,783	合計	11,166,783

【特別会計 同窓会館積立金】・・・26,544,951円

## 平成13年度同窓会予算書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
前期繰越金	6,177,653	事業費	900,000
入会金	4,950,000	人件費	600,000
受取利息	5,000	通信費	1,400,000
雑収入	80,000	消耗費	150,000
		在校生補助	800,000
		理事会費	350,000
		支部運営補助	300,000
		旅費交通費	300,000
		広告費	100,000
		機器備品費	300,000
		委託手数料	700,000
		予備費	200,000
		次期繰越金	5,112,653
合計	11,212,653	合計	11,212,653

\*前期繰越金項目処理を承認



## 同窓会会長年間職務日誌

月日	行事名	場所
H.12. 4/6	金沢経済大学入学式	稲置学園記念講堂
5/1	稲置理事長と懇談	理事長室
5/13	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢
5/25	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室
5/27	岡田晃新学長との懇談会	金沢スカイホテル
6/2	「稲置学園同窓会」の打合せ会	金沢東急ホテル
6/3	同窓会理事会	ホリデイ・イン金沢
6/4	関西支部第2回総会・懇親会	烏丸京都ホテル
6/10	鈴木透氏の叙勲を祝う会	金沢ニューグランドホテル
6/22	馳浩 稲置学園総決起大会	稲置記念館講堂
6/24	「きずな」編集会議	金沢東急ホテルロビー
6/26	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室
7/16	石川県立看護大学視察	石川県立看護大学
7/28	稲置学園理事浮田豊氏通夜	オークスセレモニー金沢
7/30	新潟支部結成準備会	新潟東急イン
8/10	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室
8/19	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室
9/2	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
9/13	会員高村佳伸金沢市議選議長就任祝賀会	金沢全日空ホテル
9/24	富山支部結成準備会	名鉄富山ホテル
10/8	金沢工業大学「工大祭」視察	金沢工業大学
10/13	稲置学園同窓会会長会	メルバルク金沢
10/14	北陸学園「学園祭」視察	北陸大学
10/21	金沢学院大学「清鐘祭」視察	金沢学院大学
10/28	金沢経済大学「学園祭」・「文化講演会」	金沢経済大学・稲置記念館講堂
11/5	金沢大学「金大祭」視察	金沢大学
11/18	学園役員と学園同窓会との懇談会	金沢東急ホテル
12/9	同窓会常任理事会	金沢東急ホテル
12/21	稲置学園同窓会役員会	大学レストラン「レ・パージュ」
H.13. 1/19	稲置学園同窓会役員会	大学レストラン「レ・パージュ」
1/23	同窓会事務局と打合せ	同窓会事務局
2/17	稲置学園同窓会・新年会	メルバルク金沢
2/26	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室
3/10	金沢経済大学卒業記念パーティー(Ⅱ部)	金沢東急ホテル
3/14	金沢経済大学卒業式	稲置記念館講堂
3/14	金沢経済大学卒業記念パーティー(Ⅰ部)	金沢東急ホテル
3/16	稲置学園評議員会	大学本館法人本部会議室

## 第17回同窓会 ゴルフコンペ

平成13年6月10日(日)  
於：千里浜カントリークラブ

回を数えて17回、曇り空の中、15名の参加で親しくゴルフコンペを行いました。当日はキャンセルをされる方が相次ぎ、1組をゴルフ場に返すことになり、ゴルフ人としてのマナーに欠ける方の存在に考えさせられました。ともあれ、鈴木透学園常務理事のご参加を得、ご高齢にもかかわらず4アンダーで優勝を果たされ、4番ホールのドライビングコンテストでも飛距離で第1位と、年齢を感じさせないお元気さでそのキャリアに参加同窓生一同驚かされました。

次回コンペは、10月上旬を予定しています。ゴルフに興味や関心のある方は、是非ご参加下さい。また、お世話をされるボランティアの方も同時募集いたしております。お問い合わせは、同窓会事務局までお願い致します。

結果	OUT	IN	GROS	HCP	NTE
優勝 鈴木 透	44	47	91	23	68
第二位 米田 正博	46	44	90	22	68
第三位 小川 義昭	37	43	80	10	70
ニアピン-No.3 梶谷 No.6 村田 No.12 安野 No.16 竹村					
ドラコン-No.4 鈴木 No.13 小川					



金沢経済大学に大学院新設（設置認可申請中）平成14年度開設予定

## 金沢経済大学大学院 地域経済システム研究科が誕生。

経済システムの新しい教育・研究の場が生まれます。新しい経済の枠組み…それが地域経済システム。本研究科は、地域経済システムに焦点を絞った研究、教育体制を志向しています。この場合の「地域」の語は、ローカルの意味に限定されません。「地域」は、ボーダレス化とネットワーク化の進む現代世界において、様々な枠を乗り越えて、さらに国家と言う既存のシステムにもとらわれず、柔軟に姿を変えていく経済の新しい連携の単位としてその存在を示しつつあります。本学では、そのような世界の新しい流れに対応するための概念としての「地域」を主眼として、地域経済システムを研究対象としています。

充実したカリキュラム

【講義＋ワークショップ＋研究指導（演習）＋論文完成指導】

### 研究科目録

- 地域計量・開発研究群
- 統計情報理論研究群
- 地域史研究群
- アジアネットワーク研究群
- 国際地域システム研究群
- 市場型金融研究群
- 経営マーケティング研究群
- 財務・税務研究群

### 地域経済システムのねらい

- 構造改革の推進役
- 地域活性化のにない手
- アジア交流の推進役
- 市場型金融の達人

学生募集、入学試験等（予定）  
地域経済システム科 修士課程  
経済・経営学専攻

■研究分野＝地域経済計量分析研究  
国際地域経済システム研究  
金融・経営市場システム研究

●定員 10名 ●募集要項の配付 平成13年12月

●出願 平成14年1月～2月の予定

●入学試験の期日 平成14年2月（予定）

なお、平成14年度10月入学生および平成15年度4月生の入試は平成14年7月を予定しております。

新事務局員のご紹介

加藤幸子さん



同窓会の皆様はじめまして、加藤幸子と申します。この度、安江様の後任として昨年十一月より同窓会事務局のお仕事をさせて頂いていただくことになりました。慣れないことばかりで至らぬ点も多いかと思いますが、お気付きの点は是非ご指導頂きたいと思っております。

平成十四年からは、校名も「金沢星稜大学」となるため「金沢経済大学」として最後の一年です。この節目の時、事務局の担う役割も大きいものと感じております。努力を惜しまずガンバリたいと思っておりますので宜しくお願いたします。

編集後記

猛暑、酷暑と表現された今年の夏、もう耐えられないもう耐えられないと言いつつ、ようやくの秋めいてきた朝晩に季節の変遷の確かさを感じています。

小泉改革断行内閣の頑固とも言える痛みを伴う改革推進のなか、景気の一段と悪化傾向をそうで無くとも悪化を止められる政府が存在しないと考えざるべきなのかなにしろ色めいた良い話がない。痛みを伴った改革の正体を見極めたいと考えるのは小生だけであろうかどうか、的確に具体的な改革の成果の後に残ったのは官僚と公務員でした、とならないことを祈る。

金沢経済大学も、いよいよ金沢星稜大学と名称を変更し新しいイメージでの新世紀を生き抜くこととなりました。異論を挟む余地のない現実の中での選択、そして応援団としての同窓会を運営しその役割を明確にする事がいま求められているようです。

学園創設七十周年、四同窓会の活動を一本化する試みも始まるなど、同窓会自体が変ぼうするのかがどうか、大変忙しいスケジュールになっています。

大学同窓会役員会は、着実に支部の開設を進めながら、ネットワークづくりへの基盤整備を進めて行きます。そして、学園の大きな目的である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の実践を支えるべく提案し活動するためのステーションをあるいは「ハーバー」を目指します。

きずな、第十二号をお届けします。この時代をどう評価するのかがいつか話題になる時の一ページになればと考えます。(S生)

金沢経済大学

誠実にして社会に役立つ人間の育成



金沢経済大学ホームページトップより  
アドレス  
<http://www.kanazawa-eco.ac.jp/>

同窓生諸君の多数の参加で総会を成功させよう。  
金沢経済大学としての最後の同窓会総会です。(平成14年度より金沢星稜大学同窓会となります。)

平成13年度  
同窓会総会開催のご案内



とき：平成13年10月27日(土) 午前11時より  
ところ：金沢経済大学 401号室

当日は、**大学祭**が開かれています。  
新しい学舎と、いま時の大学生のパワーを見学しましょう。  
そして、参加する事で交流し、大いなる人脈開拓の一端として下さい。  
人とひととの交流があって始めてその価値が発見できるのではないのでしょうか。